

ガートナー セキュリティ & リスク・ マネジメント サミット

2019年8月5日(月)・6日(火)・7日(水)
ANAインターコンチネンタルホテル東京
gartner-em.jp/srm/

開催概要

会期：2019年8月5日(月)・6日(火)・7日(水)

会場：ANAインターコンチネンタルホテル東京

主催：ガートナー ジャパン株式会社

後援：一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS)
特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)
特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会 (ITCA)
(ISC)²

参加対象者

- ・ CISO (最高情報セキュリティ責任者)、CSO (最高セキュリティ責任者)
- ・ CRO (最高リスク責任者)、ガバナンス/リスク/コンプライアンス(GRC)担当者
- ・ セキュリティ・ディレクター/マネージャー、セキュリティ・リーダー
- ・ セキュリティ・アーキテクト、テクノロジー・プロフェッショナル
- ・ ネットワーク・セキュリティ・マネージャー、セキュリティ・エグゼクティブ/ディレクター
- ・ 事業継続/ITディザスタ・リカバリ・マネージャー
- ・ 情報セキュリティ/サイバーセキュリティ担当者
- ・ 監査担当者、プライバシー管理者



参加料金(1名様)

早期割引価格：128,000円(税別)
2019年6月24日(月)まで

通常価格：145,000円(税別)
2019年6月25日(火)～2019年8月2日(金)まで

グループ登録特典

- 4for3** 同時に4名様ご登録で、1名様分無料になります。
- 7for5** 同時に7名様ご登録で、2名様分無料になります。
- 10for7** 同時に10名様ご登録で、3名様分無料になります。

参加セッションは事前登録制です
ガートナー サミットのセッションはすべて事前登録制です。
セッション登録は2019年6月上旬開始予定です。
サミットの参加登録がお済みのお客様へ
6月上旬に「セッション登録開始のお知らせ」メールをお送りする予定です。

ガートナー セキュリティ & リスク・ マネジメント サミット

2019年8月5日(月)・6日(火)・7日(水)
ANAインターコンチネンタルホテル東京
gartner-em.jp/srm/

新たな時代の幕開け
～セキュリティのファンダメンタルを確立せよ～

お申込み方法

gartner-em.jp/srm/ からお申込みください。
もしくは、貴社担当営業へお申し付けください。

- ・お申込み確認後、登録事務局より請求書を発送いたします。
- ・お支払い方法、キャンセル規定の詳細は、Webサイトにてご確認ください。

お問い合わせ先

ガートナー ジャパン株式会社 サミット登録事務局
受付時間：10:00～12:00 / 13:00～17:00 (土・日・祝日を除く)
Tel：03-6430-1810 Fax：03-6430-1927
Email：japan.events@gartner.com

参加登録受付中

2019年6月24日まで早期割引価格にて
お申込みいただけます。

新たな時代の幕開け ～セキュリティの ファンダメンタルを確立せよ～


デジタル化が加速する現在、セキュリティは誰かの特別な問題ではなく、誰にとっても当たり前の問題となっています。

セキュリティはユビキタスなものであり、あらゆるビジネス活動の根底には必ずセキュリティのファンダメンタルが存在します。そして全てのアクティビティはその原理原則の上に成り立っています。

ビジネスの俊敏さやイノベーションのためにテクノロジーへの依存が高まるなかで、このファンダメンタルを揺るがないものとして確立することは、今まで以上に重要なものとなっています。

本サミットでは、新たな時代に向けて、セキュリティ／リスク管理のリーダーはどのようにリーダーシップを発揮し、何をすべきなのかについて、実践的な提言を行います。


トピックス


 サイバーセキュリティ、脅威管理、デジタルへの信頼


 プライバシーとデータ・セキュリティ


 より安全なクラウド・コンピューティングの実現

 十分な情報に基づくリスク・ガバナンス


 スマート・マシン、AI、モノのインターネットにおけるリスクと可能性

 アダプティブ・セキュリティ・アーキテクチャ

 デジタル・ビジネスにおけるモバイル・セキュリティ

 人中心のセキュリティ戦略

 基幹インフラストラクチャの保護

 デジタル・ビジネスのセキュリティ保護に向けたアジャイル戦略

基調講演



トム・ショルツ
ディステイングイッシュト
バイス プレジデント
アナリスト



ジェイ・ハイザー
バイス プレジデント
アナリスト



ジェ・ジャン
シニア ディレクター
アナリスト

8月5日(月)

GK1. ガートナー オープニング基調講演 セキュリティの役割は進化する: リスク・マネージから価値の創出へ

ビジネス環境がますます複雑になる中で、セキュリティのリスク、脅威、脆弱性は拡大を続けている。このような環境でセキュリティ・チームに課せられる役割は、これまでのセキュリティやリスク・マネジメントの範囲にとどまるものではない。本基調講演では、人とモノが混在し、相互依存性が高まるこれからの世界で、セキュリティ／リスク・マネジメントのリーダーが担うべき新たな役割と、それにより生まれる新たな価値とは何かを解説する。



磯田 優一
シニア ディレクター
アナリスト

8月6日(火)

GK2. ガートナー基調講演 日本におけるセキュリティの重要アジェンダ: 2019年

2019年から2020年にかけては、改元、消費税率の変更、働き方改革関連法の施行、東京オリンピック・パラリンピックをはじめとした国際的イベントの開催、5Gあるいは情報銀行や次世代システムと言われるようなデジタル・トランスフォーメーション関連の動きなど、ITとセキュリティに関連したイベントが目白押しである。新しい時代の幕開けに向けた「期待」と「不安」、あるいは新たな「機会」と「リスク」といったものが交錯し、状況は混沌としたものになりつつある。本セッションでは、来る2020年に向けてセキュリティ・リーダーが議論すべき重要なセキュリティのアジェンダを取り上げ、解説する。



コンファレンス・チェア
矢野 薫
シニア プリンシパル
アナリスト

8月7日(水)

GK3. ガートナー クロージング基調講演 2019年にセキュリティ・リーダーが取り組むべき主要なイニシアティブ

デジタル化が進むに従い、セキュリティを企業全体の問題として取り組むことの重要性はこれまで以上に増している。そしてビジネスのために力を尽くす従業員の行動は、常に多様なセキュリティの問題に直面している。このセキュリティのファンダメンタルを企業全体に浸透させるために、企業においてセキュリティのリーダーシップやマインドセット、そしてセキュリティ・カルチャーを変革することは避けて通れないものとなっている。本セッションは、3日間のサミットの締めくくりとして、2019年にセキュリティ・リーダーが取り組むべき主要なイニシアティブについて総括する。

記載内容は4月11日現在のものです。ゲスト基調講演、ユーザー事例特別講演情報はWebサイトをご覧ください。

ガートナー・エキスパート

コンファレンス・チェア

矢野 薫

Kaoru Yano
シニア プリンシパル
アナリスト



- ・インサイダー脅威への対策
- ・セキュリティ・ガバナンスとリスク管理
- ・アイデンティティ・アクセス管理
- ・SaaS利用時のセキュリティ(クラウドとモバイル)
- ・セキュリティ・オペレーションとモニタリング(SOC/CSIRT/セキュリティ運用, SIEM)
- ・セキュリティ教育
- ・金融機関におけるセキュリティ・トレンド分析

アント・アラン

Ant Allan
バイス プレジデント
アナリスト



- ・アイデンティティ/アクセス管理
- ・ユーザー認証の戦略/計画立案、テクノロジーの選定と実装
- ・ユーザー認証のポリシー/標準/ガイドライン(特に、パスワードのポリシー/標準/ガイドライン)
- ・ユーザー認証と他のアイデンティティ・コロポレーション・テクノロジーの共通点(アイデンティティの証明、フラウド・ディテクション、不正行為防止)

木村 陽二

Yoji Kimura
シニア プリンシパル
アナリスト



- ・セキュリティ&リスク・マネジメント全般(特にエンドポイント保護)
- ・セキュリティ・ガバナンス、監査
- ・日本のセキュリティの技術動向、ベンダー分析、市場動向、将来予測

亦賀 忠明

Tadaaki Mataga
ディステイングイッシュト バイス プレジデント
アナリスト



- ・デジタル・ディスラプション
- ・戦略的テクノロジー・トレンド
- ・先端テクノロジー、未来志向
- ・AI、クラウド・コンピューティング
- ・メインフレーム
- ・戦略、人材投資

ジェレミー・ドゥエン

Jeremy D'Hoinne
バイス プレジデント
アナリスト



- ・ネットワークとエンドポイントのセキュリティ
- ・アプリケーションとデータのセキュリティ
- ・クラウドのセキュリティ
- ・高度脅威検知(ATD) テクノロジー
- ・ファイアウォール、統合脅威管理評価
- ・セキュリティ改善を目的とした人工知能の利用

ポール・フルタード

Paul Furtado
シニア ディレクター
アナリスト



- ・サイバーセキュリティ戦略
- ・クラウドのセキュリティ
- ・ネットワークとエンドポイントのセキュリティ
- ・セキュリティ/リスク管理リーダー
- ・セキュリティの脅威検知/対応

トム・ショルツ

Tom Scholtz
ディステイングイッシュト バイス プレジデント
アナリスト



- ・情報セキュリティ管理プログラム
- ・効果的なセキュリティ戦略の計画立案
- ・セキュリティ・リスク管理プラクティスの改善
- ・セキュリティに最適な組織構造
- ・セキュリティ・ガバナンス

アヤル・ティロシュ

Ayal Tirosh
シニア プリンシパル
アナリスト



- ・アプリケーション/データのセキュリティ
- ・データのマスキング/難読化
- ・サービスとしてのアプリケーション・セキュリティ
- ・アプリケーション・セキュリティ・プログラム
- ・ランタイム・アプリケーション・セルフプロテクション

ジェイ・ハイザー

Jay Heiser
バイス プレジデント
アナリスト



- ・クラウドのセキュリティ
- ・クラウド・コンピューティング
- ・SaaSガバナンス
- ・パブリック・クラウドのリスクをコントロールするためのポリシー、プロセス、製品戦略

マーク・ホーヴァス

Mark Horvath
シニア ディレクター
アナリスト



- ・アプリケーションとデータのセキュリティ
- ・インフラストラクチャ、オペレーション、クラウドの管理
- ・既存の開発部門でのセキュリティの強化
- ・安全なSDLCの一環としてのSAST/DAST/IAST/RASPテスト・ツールの管理
- ・量子コンピューティング、準同型暗号、セキュリティ

ジョン・ワッツ

John Watts
シニア ディレクター
アナリスト



- ・ネットワークとエンドポイントのセキュリティ
- ・ネットワーク・インフラストラクチャの保護
- ・安全なWebアクセスの実現
- ・ネットワーク・セキュリティのテクノロジーとサービスの選定・管理
- ・ネットワーク・セキュリティ・プロセスの特定と実装

山本 琢磨

Takuma Yamamoto
ディレクター
アナリスト



- ・データセンターおよびITインフラストラクチャにおける技術動向、市場動向、将来予測、ベンダー分析
- ・データセンターおよびITインフラストラクチャに関する戦略と推進に関わる支援・助言

池田 武史

Takeshi Ikeda
バイス プレジデント
アナリスト



- ・企業のITインフラに関する戦略、構築、運用について、特にネットワークとコミュニケーションの視点からの支援・助言
- ・IoTに関するテクノロジー、アーキテクチャ、推進体制についての支援・助言

磯田 優一

Yuichi Isoda
シニア ディレクター
アナリスト



- ・セキュリティ・ガバナンス、マネジメント
- ・サイバーセキュリティ
- ・プライバシー

ジエ・ジャン

Jie Zhang
シニア ディレクター
アナリスト



- ・セキュリティ/リスク管理プログラム
- ・プライバシー管理プログラム
- ・データ・ガバナンス、コンプライアンス、法務
- ・中国のサイバーセキュリティ法とプライバシー
- ・新規市場参入のベスト・プラクティス(中国)

ディオニシオ・ズメール

Dionisio Zumerle
シニア ディレクター
アナリスト



- ・ネットワークとエンドポイントのセキュリティ
- ・アプリケーションとデータのセキュリティ
- ・DevOps
- ・モバイルとエンドポイントのテクノロジー
- ・エンドポイント/モバイル・セキュリティ製品の選定

各エキスパートのプロフィールはWebサイトをご覧ください。

🔗 ガートナー CISO サークル

ガートナー CISO サークルは、CISO (Chief Information Security Officer / 最高情報セキュリティ責任者) 限定のプログラムです。
企業の情報セキュリティ/リスク責任者としてのリーダーシップ・スキル向上や高度なビジネス目標を達成するためのベスト・プラクティス共有の機会を提供します。

参加条件

CISOもしくはCISOに相当するITエグゼクティブ リーダー (企業組織の意思決定者)

※ITベンダー企業については、社内向けのセキュリティ/リスク管理業務における最高責任者若しくは予算の意思決定者に限ります。

お申込み方法： 貴社担当営業へお申し付けください。

参加特典

- CISOサークルメンバー限定ラウンドテーブルにご参加いただけます
 - CISO1. サイバーセキュリティの人材/スキル不足を克服する ポール・フルタード
 - CISO2. デジタル・ワークスペースのセキュリティ: CISOに求められる新たなリーダーシップ 矢野 薫
 - CISO3. プライバシー規制により最高コンプライアンス責任者の役割が変わることを理解する ジェ・ジャン
- CISOラウンジをご利用いただけます。
CISOラウンジは、ご休憩やCISOの方同士の情報交換やネットワーク作りをしていただくためのスペースです。

※記載内容は4月11日現在のものです。

🗨️ コンサルティング・クリニック (事前登録制)

コンサルティング・クリニックは実践的なアドバイスを行う1対1形式のセッションです。
貴社の課題に対して、経験豊富なコンサルタントを揃え、類似の課題の解決事例をもとに、共に考え、解決を見出します

Approach • 45分間のセッションにノウハウと情報を凝縮し、貴社の課題を共に考えます。
貴社の課題認識に基づき、経験豊富な様々な専門領域を持ったコンサルタントを揃え、ベスト・プラクティス、マーケット・トレンドをご紹介しつつ、解決策(フレームワークやセオリーに基づく可能な解決策)を議論します。

Results • 貴社の課題への現実的な解決策を見出せます。
ガートナー・コンサルタントとの議論を通じ、課題の全体感、対策の優先順位、当面実行すべきことを、整理頂きます。

Questions

- 自社のセキュリティレベルは他社と比べてどの程度できているか?
- 他社ではどのようなサイバーセキュリティ対策を行っているのか?
- セキュリティコストは他社と比べて適切といえるか?
- セキュリティリスクをどう管理したらよいのか?
- セキュリティの重要性やリスクをどのように経営者に伝えるのか効果的か?
- サイバーセキュリティ対策のベスト・プラクティスを知りたい

【お問い合わせ、お申込み方法】 貴社担当営業へお申し付けください。

多様なプログラムでお客様の課題解決をサポートします

ガートナー・エキスパートとのディスカッション

🗨️ One-on-Oneミーティング
お客様の課題に対して、ガートナー・エキスパートがお答えする「1対1」型の個別ミーティングです。

🗨️ コンサルティング・クリニック
お客様の課題に対してガートナー・コンサルタントが実践的なアドバイスを行う個別ミーティングです。

🗨️ Ask the Expert
少人数制のQ&Aセッションです。トピックに関する参加者からの質問にガートナー・エキスパートが直接回答します。

🔗 ガートナー CISOサークル
CISO (Chief Information Security Officer / 最高情報セキュリティ責任者) サークルメンバー限定の少人数制ラウンドテーブル・セッションです。

専門セッション

AAI 各ガートナー・エキスパートが、それぞれの専門分野に特化したプレゼンテーションを提供します。

ゲスト基調講演 / 事例講演

🗨️ セキュリティ分野の最前線やビジネスの第一線で最前線でご活躍の方々に、サイバーセキュリティ対策、セキュリティ/リスク管理の最新事例や自社の取り組みを講演いただけます。

ネットワーキング

🗨️ ネットワーキング・レセプション
軽食とお飲み物をご用意してお待ちしております。くつろいだ雰囲気の中でネットワーキングをお楽しみください。

先進テクノロジーとソリューション

ソリューション・プロバイダー・セッション
ソリューション・プロバイダーが、デジタル時代のセキュリティ対策や、最新ソリューションをプレゼンテーションします。

展示会
サミット会場で貴社の課題を解決するベスト・ソリューションをご覧いただけます。

ソリューション・プロバイダー・ミーティング
各ソリューションの専門家、テクノロジー・スペシャリストとの個別ミーティングです。

🗨️ One-on-Oneミーティングについて

- 1回30分の個別ミーティングです。お一人様1回ご参加いただけます。
- ミーティングはトピックのご指定だけでも行えます。最適なガートナー・エキスパートとのミーティングをアレンジさせていただきます。
- 各エキスパートの担当領域はP4-P5をご覧ください。

お申込み方法

貴社担当営業へお申し付けください。
6月上旬よりWebサイト上でもお申込みいただけます。



タイムテーブル

8月5日(月)

9:15 - 10:15	🗓️	GK1. ガートナーオープニング基調講演 セキュリティの役割は進化する: リスク・マネージから 価値の創出へ トム・シヨルツ/ジェイ・ハイザー/ジエ・ジャン	📺
10:30 - 11:30	🗓️	GU1. ゲスト基調講演 近日公開	📺
11:45 - 12:30	🗓️	ランチョン・セッション	
12:45 - 13:30	📍	11A. デジタル時代のセキュリティ新戦略: ネットワークの視点から見えてくるパラダイム・シフト 池田 武史	📺
	📍	11B. セキュリティ組織のダイナミクス: 2019年 トム・シヨルツ	📺
	📍	11C. エンドポイントとモバイル・セキュリティの 展望: 2019年 ディオニシオ・ズメール	📺
13:45 - 14:30	🗓️	ソリューション・プロバイダー・セッション	
14:50 - 15:50	🗓️	CISO1. [ラウンドテーブル] サイバーセキュリティの人材/スキル不足を克服する ポール・フルタード CISOサークル	📺
15:05 - 15:50	📍	13A. デジタル・ワークプレースのセキュリティ: これからのセキュリティのために何が 必要なのか 矢野 薫	📺
	📍	13B. 現在の脅威環境における ネットワーク・トラフィック分析の役割 ジョン・ワッツ	📺
	📍	13C. SOCに最適なセキュリティ・アナリティクス・ ツールを選定するコツ ジェレミー・ドゥエン	📺
	📍	13D. 個人認証: 生体認証はこれから主流になるのか アント・アラン	📺
16:05 - 16:50	🗓️	ソリューション・プロバイダー・セッション	
17:05 - 17:50	📍	15A. 「データ」を軸に考える包括的セキュリティ・ アプローチ 木村 陽二	📺
	📍	15B. アプリケーション・セキュリティの展望: 2019年 アヤル・ティロシュ	📺
	📍	15C. 新たなAIとなる量子コンピューティング マーク・ホーヴァス	📺
	📍	15D. SaaSはやんちゃな子犬のようなもの: ビジネス 部門にはSaaSというペットの責任を負う覚悟があるか ジェイ・ハイザー	📺
	📍	15E. 近日公開 高野 敦史(ガートナー・コンサルティング)	📺
18:05 - 18:35	🗓️	ソリューション・プロバイダー・セッション	
18:40 - 19:40	🗓️	ネットワーク・レセプション ※軽食とお飲み物を用意しております。アナリストとの意見 交換や、ご参加者様同士の情報交換の場として、ぜひご利用ください。	

8月6日(火)

9:15 - 10:00	🗓️	GK2. ガートナー基調講演 日本におけるセキュリティの重要アジェンダ: 2019年 磯田 優一	📺
10:15 - 11:00	🗓️	ソリューション・プロバイダー・セッション	
11:15 - 12:00	🗓️	GU2. ゲスト基調講演 近日公開	📺
12:15 - 13:00	🗓️	ランチョン・セッション	
13:15 - 14:00	📍	22A. CARTAアプローチでユーザー認証をアイデン ティティ・コロポレーションに変革する アント・アラン	📺
	📍	22B. 中堅企業のセキュリティ/リスク管理の展望: 2019年 ポール・フルタード	📺
	📍	22C. クラウド時代のネットワーク・セキュリティの現状 ジョン・ワッツ	📺
14:15 - 15:00	🗓️	ソリューション・プロバイダー・セッション	
15:30 - 16:30	🗓️	CISO2. [ラウンドテーブル] デジタル・ワークプレース のセキュリティ: CISOに求められる新たなリーダー シップ 矢野 薫 CISOサークル	📺
15:45 - 16:30	📍	24A. AIがセキュリティ/リスク管理において果たす 役割 ジェレミー・ドゥエン	📺
	📍	24B. 「ディフェンシブル」なリスク・ベースのサイバー セキュリティ・プログラムの特徴 トム・シヨルツ	📺
	📍	24C. DevSecOps: 継続的なデリバリーで求められる継続的なセキュリティ マーク・ホーヴァス	📺
	📍	24D. [Ask the Expert] ビジネスの継続性をITイン フラによって実現する: 着手すべきDR施策のポイント 山本 琢磨	📺
16:45 - 17:15	📍	24E. [Ask the Expert] 変革期のエンドポイント・セキュリティを理解する 木村 陽二	📺
	🗓️	ソリューション・プロバイダー・セッション	
17:30 - 18:15	📍	26A. 企業はプライバシー・リスクといかに向き合う べきか 磯田 優一	📺
	📍	26B. 中国においてセキュリティ/リスク担当の リーダーが直面する主要な課題 ジエ・ジャン	📺
	📍	26C. デジタル・ビジネスを実現するために、モダン・ アプリケーションを保護すべきか、それともアプリケーション に自己防衛機能を装備すべきか ディオニシオ・ズメール	📺
	📍	26D. クラウド・セキュリティの展望: 2019年 ジェイ・ハイザー	📺
	📍	26E. [Ask the Expert] どうするクラウド、モバイル、 IoTへの対応。社内ネットワークとどうつなげるのが 良いのか 池田 武史	📺

8月7日(水)

📺 日英同時通訳付

9:15 - 10:00	📍	31A. アプリケーション・セキュリティ・テストの未来 アヤル・ティロシュ	📺
	📍	31B. ブロックチェーンの安全性: CISOのための ブロックチェーンのセキュリティ・リスク評価方法 マーク・ホーヴァス	📺
	📍	31C. GDPRおよび主要国における プライバシー規制に対処するには ジエ・ジャン	📺
10:15 - 11:00	🗓️	ソリューション・プロバイダー・セッション	
11:15 - 12:00	🗓️	GU3. ユーザ事例特別講演 近日公開	📺
12:15 - 13:00	🗓️	ランチョン・セッション	
13:15 - 14:00	📍	33A. 新しい時代へ 亦賀 忠明	📺
	📍	33B. RPAをセキュアにするための ベスト・プラクティス ディオニシオ・ズメール	📺
	📍	33C. ネットワーク・セグメンテーション・プロジェクト を成功に導く6つの要素 ジェレミー・ドゥエン	📺
	📍	33D. 近日公開 高野 敦史(ガートナー・コンサルティング)	📺
13:15 - 14:15	🗓️	CISO3. [ラウンドテーブル] プライバシー規制により 最高コンプライアンス責任者の役割が変わることを 理解する ジエ・ジャン CISOサークル	📺
14:15 - 15:00	🗓️	ソリューション・プロバイダー・セッション	
15:45 - 16:45	🗓️	GU4. ゲスト基調講演 近日公開	📺
17:00 - 17:30	🗓️	ソリューション・プロバイダー・セッション	
17:45 - 18:15	🗓️	GK3. ガートナークロージング基調講演 2019年にセキュリティ・リーダーが取り組むべき 主要なイニシアティブ 矢野 薫	📺



セッションタイプ

🗓️	基調講演/事例講演
🗓️	Ask the Expert 【参加対象】 ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方

ITプロバイダーによるセッション

LS	ランチョン・セッション
SPS	ソリューション・プロバイダー・セッション

トラック

- A** リーダーシップとストラテジー
- B** セキュリティ・トレンドとケイパビリティ
- C** リスクとレジリエンス
- D** セキュリティ・アーキテクチャとオペレーション

CISOサークル CISOサークルメンバー限定セッション

記載内容は2019年4月11日現在のものです。最新の情報はWebサイトをご覧ください。gartner-em.jp/srm/

A リーダーシップとストラテジー

デジタル・ビジネスはCISOに対して、ビジネス目標を理解し、関連するリスクを迅速に識別・評価して、ビジネス部門に分かる言葉で伝達するという新たな課題を突き付けている。

本トラックでは、CISOがビジネス・リーダーとして認められ、ひいては優れたコミュニケーター、ファシリテーター、問題解決者になるための方法を解説する。

B セキュリティ・トレンドとケイパビリティ

デジタル・ビジネスのために信頼できるレジリエンス（回復力）のある環境を構築し、かつてないほどアジリティが求められるIT組織をサポートするには、実践的な手法と長期的な戦略が必要である。

本トラックでは、脅威の状況の変化に合わせて、レガシー・インフラストラクチャを生かしながらセキュリティ・プログラムを進化させる方法を解説する。

C リスクとレジリエンス

デジタル・ビジネスにおいては、セキュリティ、プライバシー、セーフティ、そして相互の信頼関係に重きが置かれるようになる。さらにこれらを実現するには法規制とのバランスを取ることも重要になってくる。

本トラックでは、デジタル・ビジネスへの移行によってリスクと複雑性が生じるなかで、企業はどのようにレジリエンス（回復力）のあるビジネスを実現すべきなのかについて解説する。

D セキュリティ・アーキテクチャとオペレーション

情報セキュリティ/ITリスクの実務担当者に対する要求は高まる一方である。

本トラックでは、急速に変貌するIT/ビジネス環境でリスクを認識し、ビジネス成果にフォーカスしたアーキテクチャとソリューションを実現するための戦術的なインサイトを提供する。



表記について

日英同時通訳付

Ask the Expert* 参加者とガートナー・エキスパートによるQ&Aセッション(参加対象：ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方)

CISOサークル CISOサークルメンバー限定セッション

※お席に限りがございますので早めにご登録をお願いいたします。お席に余裕がある場合に限り、事前登録なしの当日のご参加も可能となります。

- トラック **A** リーダーシップとストラテジー
- B** セキュリティ・トレンドとケイパビリティ
- C** リスクとレジリエンス
- C** セキュリティ・アーキテクチャとオペレーション

ガートナー セッション

1日目：8月5日(月)

GK1 8月5日(月) 9:15-10:15 (60min)

ガートナーオープニング基調講演
セキュリティの役割は進化する：リスク・マネージから価値の創出へ

ディステイングイッシュト バイス プレジデント, アナリスト トム・シヨルツ
バイス プレジデント, アナリスト ジェイ・ハイザー
シニア ディレクター, アナリスト ジェ・ジャン

ビジネス環境がますます複雑になる中で、セキュリティのリスク、脅威、脆弱性は拡大を続けている。このような環境でセキュリティ・チームに課せられる役割は、これまでのセキュリティやリスク・マネジメントの範囲にとどまるものではない。

本基調講演では、人とモノが混在し、相互依存性が高まるこれからの世界で、セキュリティ/リスク・マネジメントのリーダーが担うべき新たな役割と、それにより生まれる新たな価値とは何かを解説する。

11A 8月5日(月) 12:45-13:30 (45min) **B**

デジタル時代のセキュリティ新戦略：
ネットワーキングの視点から見えてくるパラダイム・シフト

バイス プレジデント, アナリスト 池田 武史

IoTなどへの取り組みが進み、IT部門がカバーすべき情報システムの範囲が広がっている。また、そこで求められるシステムも構成するテクノロジーの特性や要件が多様化している。

このように多様化するシステムを賢く効果的に構築・運用するには、これまでのネットワークやセキュリティの考え方から視点を変えた新たなアプローチが必要となる。

本セッションでは、CIO、CISOおよびネットワーク/セキュリティのリーダーを対象に、これからの時代に必要となるセキュリティ戦略について、アーキテクチャやセグメンテーションなどネットワーキングの視点から、パフォーマンスとセキュリティを両立させるために重要な考え方や取り組みにフォーカスし、議論を進める。

11B 8月5日(月) 12:45-13:30 (45min) **A**

セキュリティ組織のダイナミクス：2019年

ディステイングイッシュト バイス プレジデント, アナリスト トム・シヨルツ

セキュリティ組織にとって、完璧かつ普遍的に適切なモデルは存在しない。各企業は、基本原則、実務的な現実、デジタル・トランスフォーメーションの課題を考慮し、独自のモデルを開発しなければならない。

本セッションでは、「セキュリティ組織の設計におけるトレンドと課題は何か」、「セキュリティ組織に影響を与える要素は何か」、「セキュリティ組織に適する最新のベスト・プラクティスと現代の概念設計モデルは何か」を解説する。

11C 8月5日(月) 12:45-13:30 (45min) **B**

エンドポイントとモバイル・セキュリティの展望：2019年

シニア ディレクター, アナリスト ディオニシオ・ズメール

クラウド、BYO（個人所有の業務利用）、ワークステーション、モバイル、ウェアラブル、「モノ」、純粋なソフトウェアなどにわたる境界が曖昧になっている今、エンドポイント・セキュリティの課題はますます複雑になりつつある。

本セッションでは、「エンドポイント・セキュリティのリスクはどのぐらい増大しているか」、「エンドポイント・セキュリティの戦略的要因に影響を及ぼす攻撃の主なトレンドは何か」、「2025年にエンドポイントを保護するテクノロジーとプラクティスはどれか」について解説する。

CISO1 8月5日(月) 14:50-15:50 (60min)

【ラウンドテーブル】
サイバーセキュリティの人材/スキル不足を克服する

シニア ディレクター, アナリスト ポール・フルタード

企業の多くは、サイバーセキュリティの人材確保とその定着に苦戦している。本セッションでは、小規模チームでサイバーセキュリティを管理する方法について、参加企業における事例を中心にディスカッションを行う。

本セッションでは、「人材とスキルの制約をどう克服してきたか」、「マネージド・サービスを活用すべきケースとは」、「社内対応が最適なケースとは」を取り上げる。

参加対象：CISOサークルメンバー 参加条件はP6をご覧ください

ガートナー セッション

1日目：8月5日(月)

13A 8月5日(月) 15:05-15:50 (45min) **B**

デジタル・ワークプレースのセキュリティ：これからのセキュリティのために何が 필요한のか

シニア プリンシパル, アナリスト 矢野 薫

クラウドやモバイル、そして新たなテクノロジーの利用が拡大し、企業ではワークプレースのデジタル化を進めることによって業務効率やパフォーマンスの向上を実現しようとしている。センサやロボットなど新たな技術の活用が期待される一方で、それらのセキュリティをどのように確保すべきかという不安が残されている。

本セッションでは、デジタル・ワークプレースで用いられる新たなテクノロジーをよりセキュアにするためにはどのような点に留意すべきか、新たな環境で実践すべきセキュリティの推奨事項を述べる。

13B 8月5日(月) 15:05-15:50 (45min) **D**

現在の脅威環境におけるネットワーク・トラフィック分析の役割

シニア ディレクター, アナリスト ジョン・ワッツ

本セッションでは、異常検知の新たな手法をはじめ、ネットワーク・ベースの高度な脅威の検知における最新のトレンドを紹介する。また、暗号化トラフィック率の増加、それが脅威検知に及ぼす影響といった課題も取り上げ、市場の主要ベンダーについても解説する。

13C 8月5日(月) 15:05-15:50 (45min) **D**

SOCに最適なセキュリティ・アナリティクス・ツールを選定するコツ

バイス プレジデント, アナリスト ジェレミー・ドゥエン

セキュリティ・オペレーション・センター(SOC)の構築や脅威の可視化機能の強化に取り組むセキュリティ・リーダーは、新たなテクノロジーが続々と登場し、選択肢が過剰にあることに圧倒されている。本セッションでは、最も役に立つセキュリティ・アナリティクス・ツールについて、そのメリットを解説し、ユースケースの比較を行う。

本セッションで取り上げるテクノロジーは、SIEM、ネットワーク・トラフィック分析、ユーザーの挙動に関するアナリティクス、エンドポイントの検知と対応、侵入検知、フルパケット・キャプチャ、SOARなどである。

13D 8月5日(月) 15:05-15:50 (45min) **B**

個人認証：生体認証はこれから主流になるのか

バイス プレジデント, アナリスト アント・アラン

各人に固有の特徴を使った生体認証に対するユーザー企業の期待は、容易性、安全性、普遍性にあったが、これらは長い間実現されてこなかった。しかし、過去10年間で生体認証への関心が急激に高まり、採用が急増している。生体認証は、すべての企業が進むべき道なのであるか。本セッションでは、「生体認証と従来の認証方法の違いとは」、「生体認証が最も普及している分野はどこか。落とし穴は何か」、「生体認証を企業のアイデンティティ・コロケーション戦略に適合させるには」について解説する。

15A 8月5日(月) 17:05-17:50 (45min) **B**

「データ」を軸に考える包括的セキュリティ・アプローチ

シニア プリンシパル, アナリスト 木村 陽二

企業におけるクラウドやモバイルの活用、モード2やデジタル・ビジネスへの取り組みでは、種類と保存場所が拡大していく「データ」をセキュアに保護することが、すべての企業にとって急務である。

本セッションでは、セキュリティのリーダーがデータ・セキュリティに取り組む際に必要となる考え方を示す。

15B 8月5日(月) 17:05-17:50 (45min) **B**

アプリケーション・セキュリティの展望：2019年

シニア プリンシパル, アナリスト アヤル・ティロシュ

多くの組織にとって、アプリケーション・セキュリティは今なお大きな課題である。

本セッションでは、アプリケーションの脆弱性とアプリケーション・セキュリティ・プログラムに関する現時点の展望に加え、アプリケーションのセキュリティ・プラクティス/テクノロジーにおける発展の最新状況を解説する。

15C 8月5日(月) 17:05-17:50 (45min) **B**

新たなAIとなる量子コンピューティング

シニア ディレクター, アナリスト マーク・ホーヴァス

過去のAIと同様に、量子コンピューティングとそれに関連する量子テクノロジー(量子鍵交換、量子乱数生成、準同型暗号など)は、成熟に伴ってテクノロジー環境に極めて大きな変革をもたらすと考えられている。

本セッションでは、「ビジネスに影響を及ぼす重大な量子コンピューティング・テクノロジーとは」、「RSAのように長期にわたり存続しているセキュリティ・ツールはどう変化するか」について解説する。

15D 8月5日(月) 17:05-17:50 (45min) **B**

SaaSはやんちゃな子犬のようなもの：ビジネス部門にはSaaSというペットの責任を負う覚悟があるか

バイス プレジデント, アナリスト ジェイ・ハイザー

SaaSは、野放しにすると手に負えなくなるペットと同じである。SaaSを放置すると、データ共有はインターネットに開放され、法規制に準拠できず、予算超過やコラボレーションの無秩序な拡大が起こり、組織全体にマイナスの影響が及ぶ。

本セッションでは、「SaaSの問題点は何か」、「SaaS使用の管理に役立つプロセスとポリシーとは」、「SaaSのガバナンスに役立つツールとは」について解説する。

15E 8月5日(月) 17:05-17:50 (45min)

近日公開

シニア ディレクター 高野 敦史(ガートナー・コンサルティング)



Gartner Security & Risk Management Summit 2019

2日目：8月6日(火)

GK2 8月6日(火) 9:15-10:00 (45min) **D**

ガートナー基調講演

日本におけるセキュリティの重要アジェンダ：2019年

シニア ディレクター, アナリスト 磯田 優一

2019年から2020年にかけては、改元、消費税率の変更、働き方改革関連法の施行、東京オリンピック・パラリンピックをはじめとした国際的イベントの開催、5Gあるいは情報銀行や次世代システムと言われるようなデジタル・トランスフォーメーション関連の動きなど、ITとセキュリティに関連したイベントが目白押しである。

新しい時代の幕開けに向けた「期待」と「不安」、あるいは新たな「機会」と「リスク」といったものが交錯し、状況は混沌としたものになりつつある。

本セッションでは、来る2020年に向けてセキュリティ・リーダーが議論すべき重要なセキュリティのアジェンダを取り上げ、解説する。

22A 8月6日(火) 13:15-14:00 (45min) **B**

CARTAアプローチでユーザー認証をアイデンティティ・コロケーションに変革する

バイス プレジデント, アナリスト アント・アラン

資格情報に基づく従来型の認証では、もはやデジタル・ビジネスのニーズに対応しきれない。

本セッションでは、アナリティクス中心のアイデンティティ・コロケーション(Corroboration: 確証) ツールにより「CARTA (継続的でアダプティブなリスク/トラストのアセスメントの戦略的アプローチ)」を実現するための方法として、従来の認証方法の弱点やユーザーニーズの評価について、およびCARTAの戦略的アプローチが企業にもたらすメリットとについて解説する。

22B 8月6日(火) 13:15-14:00 (45min) **C**

中堅企業のセキュリティ/リスク管理の展望：2019年

シニア ディレクター, アナリスト ポール・フルタート

攻撃が大規模化し、頻度が高まる中、中堅企業が直面する脅威のレベルとリスクは増大し続けているが、対策に講じるためのリソースは増えていない。本セッションでは、効果的なセキュリティ保護とリスク管理を可能にする最適なテクノロジーを見極め、対策の優先順位について提言する。

22C 8月6日(火) 13:15-14:00 (45min) **A**

クラウド時代のネットワーク・セキュリティの現状

シニア ディレクター, アナリスト ジョン・ワッツ

Microsoft Office 365、SalesforceといったSaaSアプリケーションの導入加速に伴い、企業はネットワークを再設計して、リモート・オフィスからSD-WANなどの手段でインターネットに直接アクセスできるよう計らう必要に迫られている。企業は今後、アプライアンスではなく、クラウド・ベースのセキュリティ・サービスをより多く購入することになるだろう。

本セッションでは、クラウド・ベースのセキュリティ・サービスをスムーズに導入していくためのベスト・プラクティスを紹介する。

CISO2 8月6日(火) 15:30-16:30 (60min)

【ラウンドテーブル】

デジタル・ワークプレースのセキュリティ：CISOに求められる新たなリーダーシップ

シニア プリンシパル, アナリスト 矢野 薫

デジタル時代に活用される新たなテクノロジーは多様化している。中でも、クラウドやモバイルなど、デジタル・ワークプレースのテクノロジーをセキュアに利用するにはどうすべきかといった問題に対するCISOのリーダーシップへの期待が、今まで以上に大きくなっている。

本セッションでは、企業のワークプレースのデジタル化が加速する中で、CISOがどのように振る舞い、何を実践すべきかを明らかにする。

参加対象：CISOサークルメンバー 参加条件はP6をご覧ください

24A 8月6日(火) 15:45-16:30 (45min) **B**

AIがセキュリティ/リスク管理において果たす役割

バイス プレジデント, アナリスト ジェレミー・ドゥエン

セキュリティ分野では、人工知能(AI)を使った実証が進んでいる。評価が進むに従って、最初の幻滅が生じる。

本セッションでは、さまざまなセキュリティ/リスク管理領域におけるAIと機械学習の使用状況をレビューし、CISOに対して提言を行う。

24B 8月6日(火) 15:45-16:30 (45min) **A**

「ディフェンシブル」なリスク・ベースのサイバーセキュリティ・プログラムの特徴

ディスティングイッシュトバイス プレジデント, アナリスト トム・ショルツ

効果的なサイバーセキュリティの前提は、「ディフェンシブル」なプログラムであることだ。

本セッションでは、ディフェンシブルなセキュリティ・プログラムの特徴を紹介し、「サイバーセキュリティ・プログラムの構成要素は何か」、「主要なステークホルダーにとってディフェンシブルなプログラムにするには」について解説する。

24C 8月6日(火) 15:45-16:30 (45min) **D**

DevSecOps：継続的なデリバリーで求められる継続的なセキュリティ

シニア ディレクター, アナリスト マーク・ホーヴァス

組織内でのITソリューションのデリバリーに、アジャイル手法を採用するCIOが増えている。継続的デリバリーはITと組織全体に価値を創出するが、情報セキュリティについては、従来のウォーターフォール型のリスク管理アプローチに準拠していない。

本セッションでは、デジタル時代に合わせてセキュリティ・ガバナンスとデリバリーを見直すことで、CIOが成功を収めるための方法を解説する。



詳しくは gartner-em.jp/srm/ または 03-6430-1810 まで

ガートナー セッション

2日目：8月6日(火)

24D 8月6日(火) 15:45-16:30 (45min) **C**

【Ask the Expert】
ビジネスの継続性をITインフラによって実現する：
着手すべきDR施策のポイント

ディレクター、アナリスト 山本 琢磨

ガートナーの調査では、DRサイトでの事業継続性への対応が十分であると回答した企業は、全体の30%を下回っている。一定数以上の企業では何らかの対応を実施しているものの、大規模災害対策に不足がある可能性が高い。一方で、ITインフラによるDRを実現するための技術の選択肢は多岐にわたり、適切な判断が難しい側面も否めない。

本セッションでは、今だからこそ実行すべきアクションや比較検討ポイントなどに焦点を当てながら、対話形式で参加者からの質問に回答する。
(注：ご参加に際しましては、質問事項をご用意ください。なお、ご質問が多数の場合、全てにお答えできない場合もございますので予めご了承ください。)

【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方
少人数セッションにつきお席に限りがございます。ご参加希望の方は
早めのお申込みをお勧めいたします。

24E 8月6日(火) 15:45-16:30 (45min) **B**

【Ask the Expert】
変革期のエンドポイント・セキュリティを理解する

シニア プリンシパル、アナリスト 木村 陽二

EDR (エンドポイントの検知/対応) が存在感を増し、EPP (エンドポイント保護プラットフォーム) と急速に融合している。エンドポイント・セキュリティは根本的にその姿形を変えつつある。

本セッションでは、エンドポイント・セキュリティの注目すべきトレンドについて、アナリストが対話形式で参加者からの質問に答える。
(注：ご参加に際しましては、質問事項をご用意ください。なお、ご質問が多数の場合、全てにお答えできない場合もございますので予めご了承ください。)

【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方
少人数セッションにつきお席に限りがございます。ご参加希望の方は
早めのお申込みをお勧めいたします。

26A 8月6日(火) 17:30-18:15 (45min) **C**

企業はプライバシー・リスクといかに向き合うべきか

シニア ディレクター、アナリスト 磯田 優一

近年、デジタル化の進行に伴い、「データ」はデジタル時代の価値の源泉とも言われ、国内においてもその利活用が叫ばれている。

一方、そうした取り組みの進行とは裏腹に、社会、企業、個人レベルでのプライバシー・リスクがかつてないほど増大している。

本セッションでは、特に企業が注視すべきプライバシー・リスクの動向およびポイントについて解説する。

(本セッションは法的問題に関連するディスカッションを含む場合があるが、ガートナーは法的アドバイスやサービスを提供しない。ガートナーのリサーチあるいはガイダンスは、参考にすることはできるとしても、そうした法的な意図で解釈あるいは使用することはできない。法的問題に関しては、法律の専門家からのアドバイスを受け、企業側で判断する必要がある。)

26B 8月6日(火) 17:30-18:15 (45min) **A**

中国においてセキュリティ/リスク担当のリーダーが直面する
主要な課題

シニア ディレクター、アナリスト ジェ・ジャン

世界第2位の経済規模を誇る中国は、市場参入を目指すビジネスを引き付け、ビジネスの成長に伴って拡大を続けている。一方で、セキュリティ/リスク担当のリーダーは、中国ならではの課題に直面している。

CISOとリスク担当のリーダーは、こうした課題を理解し、ベスト・プラクティスを適用することにより、ビジネスを確実に成功へと導くことができる。

26C 8月6日(火) 17:30-18:15 (45min) **B**

デジタル・ビジネスを実現するために、
モダン・アプリケーションを保護すべきか、
それともアプリケーションに自己防衛機能を装備すべきか

シニア ディレクター、アナリスト ディオニシオ・ズメール

アプリケーション・アーキテクチャは劇的に変化したが、大半の組織は依然として従来の対策でアプリケーションを保護している。

アプリケーションは、これまで以上に動的になり、信頼できないデバイスやロボット主導のデバイス上で稼働し、ソフトウェア・ロジックはさまざまなバックエンドやフロントエンドに幅広く分散している。サーバレス、モバイル、シングル・ページ・アプリケーションは、ほんの一例である。このトレンドを背景に新たな脅威やアプリケーション・レベルの攻撃が登場し、業界を襲っている。

本セッションでは、アプローチのシフトとセキュリティ侵害の回避を目的に、セキュリティ/リスク管理のリーダーが採用すべき戦略について提言する。また、アプリケーション・シールドングから、ランタイム・アプリケーション・プロテクションやブラウザ保護まで、モダン・アプリケーションを保護するアプローチ、ツール、ベンダーを紹介する。

26D 8月6日(火) 17:30-18:15 (45min) **B**

クラウド・セキュリティの展望：2019年

バイス プレジデント、アナリスト ジェイ・ハイザー

クラウド・セキュリティは、依然として最優先事項である。

本セッションでは、「パブリック・クラウド・サービス・プロバイダーに固有のリスクとは何か、それを制御するにはどうすればよいか」、「IaaSのセキュリティに固有の課題とは何か、それを軽減するにはどうすればよいか」、「SaaSのコントロールに固有の課題とは何か、それに対処するにはどうすればよいか」の3つの論点を取り上げ、クラウド・セキュリティについての問題点、推奨プロセス、新たなタイプの製品について概説する。

26E 8月6日(火) 17:30-18:15 (45min) **B**

【Ask the Expert】
どうするクラウド、モバイル、IoTへの対応。
社内ネットワークとどうつなげるのが良いのか

バイス プレジデント、アナリスト 池田 武史

「働き方改革の促進で外出先や自宅からのアクセスが増える」[パブリック・クラウドの利用が増えてインターネット・ゲートウェイでのセキュリティ対策が逼迫する]IoTの促進で工場や店舗など、従来つなげていなかったさまざまなシステムと社内ネットワークをつなげる要望が寄せられている」といったさまざまな課題を企業は抱えている。

本セッションでは、ネットワーク・リーダーおよびセキュリティ・リーダーを対象に、悩みを共有し解決の方向性を探る。

(注：ご参加に際しましては、質問事項をご用意ください。なお、ご質問が多数の場合、全てにお答えできない場合もございますので予めご了承ください。)

【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方
少人数セッションにつきお席に限りがございます。ご参加希望の方は
早めのお申込みをお勧めいたします。

Gartner Security & Risk Management Summit 2019

3日目：8月7日(水)

31A 8月7日(水) 9:15-10:00 (45min) **B**

アプリケーション・セキュリティ・テストの未来

シニア プリンシパル、アナリスト アヤル・ティロシュ

アプリケーション開発の現場で開発サイクルのスピードや複雑性が増す中で、アプリケーションのセキュリティ・テストを実施するのもこれまで以上に難しくなっている。

本セッションでは、アプリケーションのセキュリティ・テストに向けたテクノロジーおよび製品/サービスは今後数年間でどう進歩し、デジタル・ビジネスの要求にいかに対応していくかを解説する。

31B 8月7日(水) 9:15-10:00 (45min) **A**

ブロックチェーンの安全性：
CISOのためのブロックチェーンのセキュリティ・リスク評価方法

シニア ディレクター、アナリスト マーク・ホーヴァス

ブロックチェーンは、大きな可能性を秘めたテクノロジーとして注目されている。しかし、サイバー脅威とデータ侵害に対するセキュリティは万全であろうか。ブロックチェーンが主流テクノロジーとなった今、CISOはセキュリティとプライバシーに及び影響を理解しなければならない。

本セッションでは、「ブロックチェーンが信頼するさまざまなモデルには、どのようなセキュリティ・リスクが存在するか」、「ブロックチェーン固有のPKIの問題とは何か、またどう対処するのが最善か」について解説する。

31C 8月7日(水) 9:15-10:00 (45min) **C**

GDPRおよび主要国におけるプライバシー規制に対処するには

シニア ディレクター、アナリスト ジェ・ジャン

国や地域で規定されるプライバシー保護義務の増加が続いている。セキュリティ/リスク担当リーダーにとって、各国/地域の法規制の共通点を見つけ、相違点のリスクをマネージすることが極めて重要となる。

本セッションでは、GDPR準拠のために行ってきた投資を、ほかの主要なプライバシー要件への対応に再利用する手引きを示す。

33A 8月7日(水) 13:15-14:00 (45min) **B**

新しい時代へ

ディステイニングイッシュト バイス プレジデント、アナリスト 亦賀 忠明

新たな時代が始まろうとしている。そこでは、これまでの延長ではないNew Worldとしてのインフラ戦略が求められる。それは、デジタル、モード2、クラウドを前提とするものとなる。

本セッションでは、ディスラプションへの備えを加速するための次世代のインフラ戦略、IT組織と人の在り方について述べる。

33B 8月7日(水) 13:15-14:00 (45min) **B**

RPAをセキュアにするためのベスト・プラクティス

シニア ディレクター、アナリスト ディオニシオ・ズメール

反復的なタスクの自動化を可能にするロボティック・プロセス・オートメーション (RPA) は、急速に普及が進んでいる。RPAボットは、財務会計オペレーションの自動化に使用されることも多い。セキュリティ・リーダーは、RPAボットの不正利用、データ侵害、データ流出を回避するベスト・プラクティスを取り入れるべきである。

本セッションでは、よくある間違いとそれを修正する方法について解説する。

33C 8月7日(水) 13:15-14:00 (45min) **B**

ネットワーク・セグメンテーション・プロジェクトを成功に導く
6つの要素

バイス プレジデント、アナリスト ジェレミー・ドウエン

エンタプライズ・アーキテクチャは進化しているが、ネットワーク・セグメンテーションはネットワーク・セキュリティ・リーダーにとって基本要素であることに変わりはない。

セキュリティとアジリティの適切なバランスを見つけるという原則に目新しさはないが、その実現は依然として難しい。多くのネットワーク・セグメンテーション・プロジェクトは、期待された目標を達成することなく失敗している。

本セッションでは、ネットワーク・セグメンテーション・プロジェクトを成功へと導く要素を説明する。

33D 8月7日(水) 13:15-14:00 (45min)

近日公開

シニア ディレクター 高野 敦史(ガートナー・コンサルティング)

CISO3 8月7日(水) 13:15-14:15 (60min)

【ラウンドテーブル】
プライバシー規制により最高コンプライアンス責任者の
役割が変わることを理解する

シニア ディレクター、アナリスト ジェ・ジャン

本ラウンドテーブル・セッションでは、プライバシー規制に対応するために、最高コンプライアンス責任者 (CCO) の役割や担当範囲がどのように拡張し変わっていくのかを、参加企業における事例から学ぶ。

参加対象：CISOサークルメンバー 参加条件はP6をご覧ください

GK3 8月7日(水) 17:45-18:15 (30min)

ガートナークロージング基調講演
2019年にセキュリティ・リーダーが取り組むべき
主要なイニシアティブ

シニア プリンシパル、アナリスト 矢野 薫

デジタル化が進むに従い、セキュリティを企業全体の問題として取り組むことの重要性はこれまで以上に増している。そしてビジネスのために力を尽くす従業員の行動は、常に多様なセキュリティの問題に直面している。

このセキュリティのファンダメンタルを企業全体に浸透させるために、企業においてセキュリティのリーダーシップやマインドセット、そしてセキュリティ・カルチャーを変革することは避けて通れないものとなっている。

本セッションは、3日間のサミットの締めくくりとして、2019年にセキュリティ・リーダーが取り組むべき主要なイニシアティブについて総括する。

記載内容は2019年4月11日現在のものです。最新の情報はWebサイトをご覧ください。